

事業実績（研修）報告④

1. 研修の概要

- (1) 目的 財政研究、2021 決算
- (2) 日時 令和4年8月24日（水）
- (3) 場所 自宅（zoom によるオンライン研修）
- (4) 参加者 鈴木規子

2. 研修内容と所感

女性議会ネット夏季研修会

「21 年度自治体決算～コロナ禍の財政の役割」

講師 菅原敏夫氏（前自治総合研究所主任研究員）

- ・現在の地方財政制度は 1963 年に骨格が固まった。自治体予算制度は地方財政の中心なので変化も少なく硬い。一方、決算制度はかつては重要度が低かったが、近年その重要性が認識され、制度の改善もかなりの分量で行われるようになった。大きなインパクトを与えたのは 2008 年財政健全化法である。ごく最近でも、監査基準を監査委員が定めることになった点である。
- ・9 月を決算議会と呼べるようになったのは近年のことだ。15 年前までは、決算議会は 12 月議会のことだった。9 月に上程はするものの、閉会中審査、12 月議決というのでは、議論もままならないし、決算の否決というのも意味が減じられてしまう。予算編成にも全く間に合わない。これらを改善し 9 月が決算議会となったことによって、自治体間の決算比較が可能となり決算見込みの重要性が増した。
- ・国税収入も自治体収入も計画された事業が始まったり、新規事業も開始されている。それらがキチンとした数字なのか、適正な使い方なのか判断が難しい。「金はあるが、使い方がどうか」を見極めなければならない。
- ・もう使ってしまったから仕方がない…とはならない。決算審査の役割は高い点に留意すべきである。

【所感】

- ・貯金もし、積み増しをし、税収も増えているなかで「大丈夫かどうか?!」を指摘するのは難しい。しかし、そこに目を凝らすのが議員の責務である。
- ・西尾市を例にした類似団体の比較～財政状況資料集から検索していきたい。

| 項目 | 支出金額 | 備考 |
|-----|---------|--------|
| 研修費 | 2,500 円 | 受講料として |
| 計 | 2,500 円 | |